

## 問 1.

(解答例) 237文字

江口浜から万之瀬川河口の間には、日本三大砂丘の一つと言われる吹上浜の砂丘が続く。北の江口浜は「江口蓬萊」とも呼ばれ、浜の背後にシラスの崖が屏風のように連なる。南の万之瀬川河口には、クロツラヘラサギが飛来し、ハマボウフウやハマゴウ等の植物が育つ砂丘はアカウミガメの産卵場として知られている。一方、野間半島から秋目、坊津にかけてリアス(式)海岸特有の切り立った断崖が続き、東シナ海に沈む夕陽はとくに美しい。坊津は日本三津の一つと言われた貿易港で、秋目浦は鑑真が来日の第一歩を記した。

## 問 2.

(解答例) 238文字

1601年から島津家久は鹿児島城の建設に着手した。1604年に居城を移し、1612年には御楼門も完工された。鹿児島城は背後の城山の嘉祥名にちなみ、鶴丸城とも呼ばれた。「人をもって城となす」の考えにより、天守閣を持たない屋形造りとした。その後、1696年をはじめに幾度かの大火に見舞われ、1873年の不審火では御楼門を含めたほとんどの建物が焼失した。2020年現在、御楼門は再建されることとなっており、本丸跡には県歴史資料センター黎明館、二の丸跡には県立図書館が建てられている。

## 問 3.

(解答例) 202文字

鶴田義行選手である。子どものころ生家の前を流れる甲突川で泳ぎを覚える。のちに海軍佐世保海兵団へ入り本格的な練習を始めた。やがて明治神宮大会や日本選手権大会の競泳平泳ぎ200メートルに出場し優勝を遂げる。オリンピックでは1928年のアムステルダム大会で当時の世界記録保持者を破って金メダル。32年のロサンゼルス大会でも自己ベスト記録で2大会連続の金メダルに輝いた。現在、国道3号沿いの生家前に銅像と記念碑が建っている。

問 4.

(解答例) 205文字

本県には JAXA が設置・運用する射場として、種子島宇宙センターと内之浦航空宇宙観測所がある。種子島は液体燃料の H2B ロケット等の発射基地となっており、近年は宇宙ステーション補給機である「こうのとり」の打ち上げが注目を浴びている。内之浦はミューロケットやイプシロン等の固体燃料ロケットの発射基地となっており、日本初の人工衛星である「おおすみ」のほか、2020年に帰還10周年を迎える初代「はやぶさ」もここから打ち上げられた。

問 5. 熊毛地域に関して次の問いに答えなさい。

(解答例) 【1】

① 馬毛島 ② 渡瀬ライン ③ 平成5 (1993)

④ アカウミガメ ⑤ タンカン

(解答例) 【2】 209文字

約7300年前、鬼界カルデラの大噴火が起こった際、幸屋火砕流により屋久島の木々は大打撃を受けたとされている。このことから、屋久島に現存する縄文杉の樹齢は、約7300年未満といわれている。屋久杉は屋久島の代表的特産品として様々な製品加工がされているが、屋久杉加工品に用いられる材料となるのは、土埋木、倒木が中心である。この理由は、屋久杉のほとんどが国有林内にあるため、立木の伐採は自然保護の観点から大変厳しいためである。